

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 15 日作成)

小委員会名	テンション構造小委員会		主 査 名：岡田 章 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造本委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：大森 博司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	ケーブル構造の現状調査(設計、施工、材料、ディテールなど)と分析・評価 (1) 過去 10 年のテンション構造のリストアップ (2) 分析・評価軸の作成と調査対象建物の絞り込み (3) 調査対象の設計、施工、材料、ディテール、事故例などを分析・評価 (4) 分析・評価結果の整理と研究課題の整理		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 岡田 章：日本大学(主査), 宮里 直也：構造計画プラス・ワン(幹事), 黒木 二三夫：日本大学短期大学部, 小堀 徹：日建設計, 斎藤 公男：日本大学, 斉藤 嘉仁：太陽工業, 田畑 博章：大林組, 丹野 吉雄：竹中工務店, 中島 肇：清水建設, 樋口 聡：鹿島建設, 細沢 治：大成建設, 浜崎勇二：神鋼鋼線工業, 矢島 卓：東京製綱		
設置 WG (WG 名：目的)			
2006 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会での議論により現状の問題点の整理ができた。 2. 調査対象物件は、事例分析を通して絞り込み作業の途中である。 3. 事例分析を通して研究課題の整理を実施中である。
委員会活動の問題点・課題	